

とぴあ *topia*

? 毎日のギモン紙面相談室



腰が痛くなってきたら、  
家で安静にするのが一番なの?

とぴあ先生  
教えて!

腰に痛みを感じてもできるだけベッド安静をせず、  
**早期から徐々に活動**することが推奨されています。

腰痛の原因が分かっている時は、痛くても無理に運動することはせず、安静や医師の指示に従う必要があります。しかし、その後に過度な安静や痛みへの不安を抱えてしまうと、腰痛慢性化の原因になります。気になる方は、お気軽に当院へお問い合わせください。



再発・慢性化!



不安による  
過度な安静

皆さんからの質問に、  
とぴあ先生がお答えします!

とぴあ先生

豊富な経験と知識をもち、仲間や患者さんから信頼される、富田浜病院に勤める医師の理想像。

お願い

富田浜病院グループでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さまをお迎えしております。来院、ご利用の際は、ご協力よろしくお願いたします。

医療法人 富田浜病院

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町26-14

お気軽にお問い合わせください

tel 059-365-0023

富田浜病院

検索

HPIはこちら



患者だった経験をもとに、  
自分や家族が受けた  
い看護を提供していきたい。

全身麻酔や腰椎麻酔などの手術を経験しました。そこで、患者さんの気持ちがわかりました。手術前は不安ですし、手術後は傷が痛い。喉が渇いても動けず、でも看護師さんには遠慮して言いづらい……。そんな経験をしたからこそ、私は看護師として、“自分や家族が受けた看護”を提供したいと強く思っています。例えば、不安を取り除くために、診察前にちょっとしたお声がけをする。「今こうお感じになっていないかな?」と思うことは先にお聞きする。外来でも救急でも、その方の気持ちに寄り添

うことを心掛けています。ただ、私が気づけないこともあるはず。患者さんには、ぜひ気軽に何でも言っていただきたいです。富田浜病院の看護師は、診療科などをローテーションで受け持ちます。私の場合、河野稔彦名誉院長の外来に看護師としてつてくことがあります。受診にみえている方には、少しは知っていただけていますでしょうか。そこで学んだのは、体を治療するだけではなく、診察中の言葉を通して、患者さんの不安を取り除くことの大切さです。患者さんは様々な不安をお持ちで、それを話しやすい関係づくりと、患者さんがおっしゃる不安に対して、その方に合わせて回答することを目の当たりにしています。看護師歴も長くなってきました、まだまだ私も成長すべきところがある。そう思いながら、日々の業務にあたっています。

Staff  
Voice

富田浜病院  
外来看護部 看護師  
わた なべ さち え  
渡邊 幸恵



部署  
紹介

いじか  
医事課



受付から入退院の手続き、会計まで  
スムーズな診察のために、連携を強化しています

富田浜病院では外来、病棟、診察、リハビリ室など、それぞれに医事課スタッフが配属されており、連携しています。何か問題点に気づいたら、スタッフが集まって改善案を出し合い、すぐに解決へ。例を挙げると、以前は保険証のコピーをとったりパソコン入力をしたりするために、窓口から人が

いなくなることもありましたが、患者さんがいらっしゃったらすぐに対応できるよう、業務を分担し、常に窓口にはスタッフが立っているようにしています。受付から会計までスムーズにできるよう、カルテに載っている情報はもちろん、それ以外の患者さん情報はスタッフ同士で共有します。



患者さんが最初にいらっしゃる窓口では、不安や心配を少しでも解消するよう笑顔でお迎えます。

患者さん情報はデータ上にありますが、過去の問診表や検査結果などは紙のまま保管されているため、診察時に紙カルテを準備します。



電話応対も大切な業務の一つ。顔が見えない分、声の大きさやトーンなどに注意し、ハキハキ答えるよう意識しています。

患者さん、  
ご家族の  
皆さんへ

困ったこと、疑問に思ったことがあったら、まずは私たちに気軽にお聞きください。医事課内だけでなく、各部署同士の連携も心がけていますので、「誰に聞けばいいのかわからない」ということでも大丈夫です。該当の部署へ連絡し、不安や疑問の解消に努めます。

スター制度の  
ご紹介

「スター制度」認定者インタビュー

富田浜病院グループでは、医療・介護業務以外の場面でも、技術やノウハウの習得や、それを通じた社会貢献活動に努めています。「スター制度」は、その活動が顕著であった職員がノミネートされるグループ内の評価制度。活躍に応じて「★」～「★★★★★」の段階があり、職員のネームプレートに掲載しています。



患者さんの看護記録を統一基準にし、安全・安心の医療提供につなげていく。

手術室の看護師は、手術に際して器械や医療材料の準備と、医師に器械を渡す役割を担っています。また、手術前後の患者さんと丁寧なお話をするを心掛けています。それに加えて取り組んでいるのが、「日常業務マニュアルの作成」「手術術式マニュアル更新」「手術看護記録方法の見直し」です。新人のスキルアップを早めると同時に、ベテランも最新の医療技術に対応するために必要だと考え実施。手術看護記録の標準化を進め、どの看護師が見てもわかりやすくなることで、安全・安心の医療提供につなげたいと考えています。

富田浜病院 手術室 看護師  
まつだ あきやす  
松田 晶靖



食べることは、今を楽しむだけでなく、  
未来の自分自身への投資でもあります。

外来での食事指導や、通所リハビリテーションでの他職種と連携した栄養管理を行っています。また、私は糖尿病療養指導士の資格を取得しており、四日市糖尿病地域連携研究会の活動にも参加。地域のクリニックでの糖尿病教室や、四日市市内の若手栄養士を対象とした糖尿病の研究会を開催するなど、患者さんや若手への普及活動に励んでいます。整形外科の患者さんも、肥満や糖尿病をはじめとする生活習慣病には食生活が影響していることが多いため、食事の見直しは大切です。心とからだの栄養につながるお手伝いできればと思います。

富田浜病院 地域医療連携室はまゆう  
管理栄養士  
なかむら やすこ  
中村 泰子

